

平成 30 年度

自己評価表

学校法人 愛知理容学園
アリアーレビューティール専門学校

1. 学校の教育目標

- 礼儀正しい人材の育成
- スペシャリストとしての即戦力となる人材の育成
- 就職、各種検定の全員合格

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 国家試験100%合格の継続
- 競技大会上位入賞
- 接遇マナー習慣づけ
- 清掃・整理整頓

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

(1) 教育理念・目標

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の理念・目的・教育人材像は定められているか	4
学校における職業教育の特色は何か	4
社会経済のニーズを踏まえた学校の将来構想を抱いているか	2
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想等が学生・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

- 本校の目的は、アリアーレビューティール専門学校学則および学校法人 愛知理容学園寄付行為に「教育基本法に則り学校教育法並びに理容師法、美容師法に基づき、理容師・美容師の養成に関する教育を施すことを目的とする。」と明確に定めている。
- 上記の目的に沿って、教育理念・教育方針（建学の精神）は、次のように明確に定めている。
 1. 私達は社会の一員として広い視野と教養をもって「人間の美を創る」ことにつとめます。
 2. 私達は常に一層高い技術と洗練された感覚をもって文化と公衆衛生の向上につとめます。
 3. 私達は和をもって団結し、真と善をもって人に接し、平素の修養を怠りません。

- 具体的な養成しようとする人物像は、理容科では、
 1. 一生涯理容師として活躍できるよう技術だけでなく強い意思
 2. 如何なる仕事でも工夫して良い仕事にしていく気持ち・考え方
 3. 常に向上心を持つこと
 美容科では、
 1. 多くのお客様に支えられる美容師としての人格形成
 2. 生涯を通じて土台となる基礎技術の習得
 3. 国家試験を全員取得し、サロンの即戦力となる力をつける
と定めている。
- 超高齢化社会に対応するため、「訪問福祉理容・美容事業の推進」を業界全体が取り組む中で、本校でも障害者・高齢者福祉施設入所者の皆さまに施術サービス等さらなる美しさを提供している。
- 「理容総合技術（理容科）」「美容総合技術（美容科）」のなかで、インターンシップ（実務実習）を実施しているが、「理容師美容師関係法令」の「Ⅱ基本通知」の「第4章理容師美容師養成施設 理容師美容師養成施設の教科課程の基準運用について」に準じて実施している。つまり、ただの見学や補助作業に留まらず、営業（カット・パーマ・カラー・シェービング等）として体験させることができるよう整備している。

（2）学校運営

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
目標等に沿った運営方針が策定されているか	2
運営方針に沿った事業計画が制定されているか	2
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2
人事、給与に関する規定等は整備されているのか	2
教務・財務等の組織整備等意思決定システムは整備されているか	2
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

- 平成30年4月1日付で就業規則を改正し、各種諸規程で今まで以上の整備を行ったが、まだ業務内容・実績等による人物評価、賞与・昇給に反映させる基準、任せる業務の難易度を人事担当者がどう把握するか等、明確になっていない。同様に、組織体制の強化および業務分担や決定権限の範囲を明確に盛り込み、学内ルールの規程等による明文化が完全とは言えない。

- コンプライアンス体制については外部有識者による委員会を整備し、全教職員は職務に係る倫理を自覚し、学生、卒業生、保護者並びに地域社会から信頼と尊敬を得るために自律的に行動することを目的として、この行動規範を定めコンプライアンス宣言を行いホームページ上で公開している。
- 2020年度実施の大学入試から、学力の3要素の1つ「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」の多面的、総合的な評価、すなわち「主体性評価」が本格的に始まる中で、学生・教職員が入力でき、eポートフォリオの機能を持つデジタルサービス「Class i クラッシー」を導入。学生自身がIDやパスワードを使い、スマホなどインターネット上にテストの結果や各種取得資格を記録として蓄積している。学生の学びの過程を書き込んでいくeポートフォリオなので、学びに向かう力を見ることができ、学習時間が可視化され、この教科は勉強が足りていないなどか思うようになった。記録して振り返ることで自分（学生）の行動を意識するようになった。今後の課題として、主体性を見る上で技術をがんばった学生とボランティアをがんばった学生、どちらが主体性があると言えるのか等テスト以外の公平な点数化をどうしていくかが課題と考えている。
- 日々の教育活動については、月曜日～金曜日まで学校HPにおいてブログ・FBを活用して情報公開をしている。また年2回学園新聞を発行し、保護者・地域住民・高等学校等へ配布している。
- 各理事・役員も理事長直轄の下、財務・教務・総務・渉外の各担当を決め教職員と一体となって学校運営に関わる体制を整備しました。

(3) 教育活動

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
教育理念などに沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	3
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発等が実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連帯により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3
関連分野における実践的な職業教育（産学連帯によるインターンシップ、実技、実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	3
職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4

成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確になっているか	3
資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

- 一般社団法人専門職高等教育質保証機構が文部科学省より委託事業として受けた、「FD・SD 事業 職業実践専門課程の質保証・向上につながる専修学校教職員資質能力プログラム開発」に参画し、専門学校教職員を対象とした多様な学生を対象とした生産性の高い教育を進めるために必要な知識・技能を研修するためのプログラムの構築と実践に取り組んできました。
- 上記同様に質保証機構委託のコンピテンシー事業「学修成果の測定に向けた職業分野別コンピテンシー体系の研究」に参加。理美容分野—理容師・美容師職種における学修成果の可視化を実現するためのコンピテンシー体系を構築し、プログラムの質保証・向上を通じて、国際間、教育セクター間における人材・教材の流動性を高める研究に参加した。
- 当然のことではあるが、教育機関の使命として、「国家試験全員合格」「競技大会上位入賞」「マナー習慣づけ」「整理整頓」を目標に掲げ、個々の学生に対して習熟度・理解度を把握し、入念なサポート体制を確立しているが本人等の意欲の問題から継続して技術アップ等の落とし込み・練習ができていない面もある。
- 教員についてはより一層、人員確保に取り組んでいます。研修にも積極的に参加し、能力開発にも努めています。
- 産学連携に関して、「産学連携授業」「都道府県内企業とのフィールドワーク」を念頭に、従来の「華道家元池坊」様に加え、名古屋国際ホテル様のご協力をいただき、ブライダル分野の連携を図る。
- 教職員研修は実施しているものの、その効果測定は実施できていない。有効な研修であったのか、費用対効果の検証も必要に感じる。(28年から同じ) また、人事評価してから研修及び研修評価につなげる(あなたは、これができていないからこの研修等)ことはしていない。教職員の能力評価を学校経営の中でやっていない。

- ヘアカラー実習ではウィックを使つての実習ではなく人体で行う。また技術大会への対応として、カット実習スタートを早めたこと、学内コンテストを行い、披露の場を増やした。
- 教職員も外部経営セミナー「短期利益計画」に参加。業績低下がもたらす弊害や変動費・固定費の削減について学習する。

(4) 学修成果

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格取得率の向上が図られているか	2
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4

- 就職希望者の就職率は高く 100%を維持している。学生の就職活動は 1 年次よりガイダンスやインターンシップを行う等、学生の就職意識を高めている。インターンシップも 30 年度より従来の 6 月のみだけでなく、10 月・11 月にも実施。平日だけでなく土日祝日も入れ繁忙時の対応も学習できるようにしました。また、愛知県庁 生活衛生課へ実務実習の届出をすることにより、技術者（カット・パーマ・カラー・シェービング等）としてインターンに参加することができ、現場での作業の幅が格段に広がる。学生個々において将来の希望などの聞き取りを行い、内定に至るまで丁寧にサポートしている。
2 年生進級時のアンケートにて、就職に対する希望や不安面等の把握に努めている。
- 31 年 3 月（昼間生）理容師・美容師国家試験については理容科 100%、美容科 92.3% の合格率。30 年 9 月（通信生）も理容科 74.2%（全国平均 57.5%）美容科 80.6%（全国平均 50.5%）の合格率で非常によかった。どこに原因や要因があるのか模索中である。
- 退学率の低減については現在最重要課題としており、当校への入学に至っての経緯や、学生の環境を分析対策し、退学に至らないよう担任を中心に指導内容の改善を図る。退学者数は前年同様 2 件発生した。（1 件は入学式すら来ず。）年 2 回の個別面談が定着化し、功を奏している面があると考えています。
- 本校の後援会会員のサロンに就職した卒業生に関しては、年 1 回総会の際に直接情報収集をしている。30 年度より、就職サロン側から書面にて近況報告を求めている。

- 卒業式直前に卒業生調査を実施し、教育成果の現状と課題を明らかにしている。質問事項としては、・学校評価（学校の総合的な評価、ロイヤルティ、学校イメージ）、・就職や進路の充実・満足（就労意欲、キャリアビュー、進路や就職先に対する満足度）、・個別実態評価（教育内容の評価・・・カリキュラム、授業、先生、施設、イベントなど）、・身についたこと、経験・体験（知識・技術・教養、マナー・姿勢・考え方）
- 通信課程の生徒が増えている分、退学者防止へのフォローアップを検討中である。

(5) 学生支援

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

- 就職指導は、就職担当者と担任が連携し行っています。卒業生および理容・美容業界関係者で組織する「アリアーレビューティー専門学校後援会」があり、そこが中心的な窓口となって、就職サロン紹介や就職ガイダンスを実施している。通信短期コース生（高校とアリアーレのWスクール）にとっては、高校よりも本校の方が理美容関係の求人は充実しており期待に添えるようにしている。理容室・美容室関係者による就職ガイダンス・企業説明会は、学生の就職先となるサロン関係者との連携を深めることにより、多くの就職先の情報が収集できることから就職率の向上につなげている。
- 就職担当者は、各学科の学生に就職に必要な情報提供を行い、学生への個別指導等は、主に担任が行っています。ガイダンスの際、事前に就職活動に関する要望等をアンケートし、またガイダンス後も書面にて意見等を回収しています。このガイダンス結果に基づき、全学年のインターン先を決定、その後、説明会～実地訓練～就職先へと繋げていきます。

- 低所得者向けに学校独自の経済的支援として、学費延納制度や入学時 0 円サポートを実施しています。通常 2 年間の授業料を卒業後 2 年間延ばし最長 4 年間で納付する制度であり、毎年利用者がある。
- 雇用保険 教育訓練給付金制度の利用者が多くなり、書類準備に時間を要するが個別対応の充実を図ることができている。
- 最近、リカレント教育を希望する社会人が増えており、このニーズの対応として、厚生労働省の専門実践教育訓練給付金制度を設けている。この制度については、学校パンフレットへの掲載とともに、制度説明に特化したチラシも作成し、周知を図っています。
- 入学を希望する外国籍の学生に対しては、留学生就職アシスト事業として、日本で培った理美容技術を活かし、母国に戻って活躍できるよう、帰国準備金として帰国の際に 20 万円支給する体制を整えている。日本語学校出席率 90%以上の学生には入学金（8 万円）を免除しています。名古屋入国管理局留学・研修審査部門より「在籍管理が適切に行われていると認められる専修学校専門課程」として選定されています。理容・美容は現在、外国人就労が原則認められていないので、母国への帰還等の確認をして入学を許可しています。また、個別面談（半年毎に 1 度）を実施し、生活状況等を確認している。平成 29 年実施の第三者評価においても優れた点として評価していただいている。
- 障害者向け施設面として、トイレを完備している。
- 高校等の連携教育は、平成 29 年 9 月 29 日、科学技術学園高校と連携教育計画に関する合意書（専修学校における学修成果の単位認定）を締結。連携協力事項としては、相互間での出張授業、学生募集・人材育成その他学生の活動に関すること等が含まれる。
- 質保証機構委託ポートレート事業「職業実践専門課程に相応しいポートレートシステムの要件定義」に参加し、利用者目線に沿って、学修に必要な情報を効率的に入手することができ、かつ、職業教育の国際通用性にも配慮したデータベースシステムの開発に協力。情報公開の見える化に関するサポートに取り組む。

（6）教育環境

適切… 4 ほぼ適切… 3 やや不適切… 2 不適切… 1

評価項目	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災に対する体制は整備されているか	3

- 平日中心のインターンシップから 30 年度は週末も利用し日数を増加（6 月のみ→6 月・10 月・11 月）また営業を伴う実務実習を行っている。その際は、管理理容師・管理美容師を調査し、適切な管理のもとにおいて行われている。また、海外研修についてはヴ

ィダルサスーンの研修をイギリス・ロンドンにて行いましたが、今までと異なり、研修も10時～18時（昨年は2時間のみ）で1日かけて研修。その際、参加者1人に人体モデルが1人つきシャンプー・カット・ブローを4時間かけてみっちり実習。モデル者との会話も一生懸命行う。

- 防災・安全管理上においては、27年度は千種消防署にお越しいただき火災訓練を行い、28年度は熊本地震もあり、震災関連の避難訓練を実施、また食糧貯蔵の確認を行いました。29年・30年度は大雨災害を想定した訓練を実施。
- 施設は充実していますが、図書館や実習室が、学生にとって平等で有効に活用されるよう工夫やメンテナンスが必要と考えている（昨年同様）

(7) 学生の受け入れ募集

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学生募集活動は、適切に行われているか	2
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	2
学納金は妥当なものとなっているか	2

- 定員に対する充足率は、30年4月入学生 理容科16%、美容科6.6%。29年度に第三者評価より抜本的な改革を求められるが、何ら実施せず。29年度課題として、「次年度は在校生保護者の皆さまからも学校の魅力を伝えてもらう方法をまずは進めていく。」ことは30年5月にポスター配布の協力を依頼し、1名の方がご協力いただく。
- 各種説明会等の参加・開催、地域活動、各種情報提供など多様な入学者確保の努力にも関わらず、理容科、美容科ともに実入学者数が入学定員を下回っており、教職員も一丸となって改善に取り組むことが必要である。（前年同様）
- 学生像や理容師・美容師という仕事が魅力的に伝えられるように、印刷物、Web ページなどの工夫・改善が必要。（動画配信）
- 地域活動はじめ諸活動の効果等を組織的分析し、教職員がそれを共有した上で、社会に向けて積極的にアピールするなど、入学者増加につながる取組が必要。（30年度は名古屋地協メーデー、大興運輸(株)、児童養護施設、今池まつり、障害者施設冬まつり等）
- 「他者から見た自分」を理解するため、教育媒体業者にも学校訪問してもらい、当校に対するリサーチをお願いした。（中央線及び総合・福祉学科の40校）当校の認知度は50%であり、高校側の専門学校に対する期待内容を調査した。
- 入学者及び紹介者両者に特典がある「入学者紹介制度」をスタート。3,000円分のクオカードをプレゼントする形で募集強化をしたところ、通信課程が中心だが理容科21名中6名（29%）、美容科48名中15名（31%）の方がこの制度を利用して入学された。また、卒業生の親族が入学された場合の特典（入学金免除）を利用された方は理容科21名中10名（48%）、美容科48名中7名（15%）であった。

- 募集広報の検証・改善（現状と課題）のために入学者調査をしている。質問項目として、
 - ・入学者の特徴（学習や仕事に対する意欲、自己評価・自己肯定感、職業決定度）、・伝わった「学校の価値」（価値評価、個別施策評価）、・入学までのプロセス（認知ルート、メディア、接触パターン）、・競合状況（各校への接触状況、最も入学を意識した学校、自校と競合校の「価値」の違い）。調査はしているが、分析しきれていない。
- Wライセンス（理容・美容両資格取得）を推奨しているが、昼間課程は他校で通信課程は本校という生徒の入学がありました。昼間課程の魅力不足が露呈し、その生徒からの声を活かしたいと思っております。

（8）財務

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3
財務について会計監査が適切に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

- 経費削減を図る一方で設備の充実と教育の強化を図りバランスをとっている。27年度自己評価にて、少子化問題、老朽化してくる施設、設備、教育上の必要性に十分対応ができるのか、また学生納付金収入に著しく偏った現在の経営では、学校運営が厳しくなることが予想され、収益事業の方向性を検討課題としたが、ずっと何ら進展しなかった。減り続ける18歳人口のみを実質的な市場としている以上、中長期的に財務が安定とは断言できない。
- 外部の会計事務所より月一回会計士指導を受けながら適正な会計処理を行っている。また、法人監査についても法人監事により年三回適正に行われているが、契約金額の妥当性について理事会での審議対象が不完全で、効率的かつ効果的な予算執行の観点から十分な検討が行われているとはいいがたい面がある。
- 28年度より、部門別（理容科・美容科）の業績管理の導入は通帳を理容科・美容科、昼間生・通信生に分けたりして進めてはいるが、引き続き取り組んできました。目標及び実績の細分化は、教職員に当事者意識を持ってもらうのには必要。
- 財務分析を行い収支バランスの観点からの課題（財務改善や業務改善）や学校法人としての戦略的な資源配分になっているのか、教務・広報部門の主管部門に対する事業計画・予算管理の有効性に関する監査等がなされているとは言えない。
- 2019年10月の消費税率改正に伴う本校の費用負担増に際し、具体的な対応が明確にできていない部分がある。

(9) 法令等の厳守

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	2
自己評価結果を公開しているか	4

- 個人情報に関しては、生徒及び教職員に関する一切の情報の持ち出しを禁止しています。また、卒業生の学籍簿に関しては施錠した保管庫に収納しています。入学前保護者会でも個人情報の扱いは説明している。
- 個人情報の取り扱いに関して、学校HP上等で学生たちの活動の様子である写真や作文を掲載することがあります。これらはその都度、公表について各家庭の意思確認はとっていません。掲載や公表を控えてほしい際は、申し出ていただくよう、入学前保護者会や学園新聞でお願いしている。
- 自己評価に関しては実施した結果を公表するようにしています。実施規定や体制には整備の余地があります。学校概要や教育内容等の情報はWEBで公開しており今後も随時更新していきます。
- 自己評価の実施からどのような意見をどう受け止め、さらにどのように対処したかということが今一つできていない。改善したことを示さなければ教職員も意見を言わなくなる。そこで改善が止まってしまっている面がある。
- 教員の組織体制、理容・美容Wライセンスの取得規定、個人情報保護法にからむ文書管理規則等、学内ルールの整備や明文化が必要。

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4

- 学校の設備や施設、教室等を外部からの依頼があれば可能な限り貸し出しに応じている。（愛知県理容生活衛生同業組合、愛知県理容美容職業訓練校等）
- 学校祭では地域住民の方を招待し、エステやネイル等の技術を一般に提供している。。

- 地域と協働する専門学校を目指し、社会貢献プロジェクトとして、福祉ボランティア 28 年 9 月より月 1 回、春日井市の障がい者施設へ卒業生とともに慰問（卒業生やサロンスタッフによるカット施術、在校生は清掃等）を行っている。在校生は今までは希望者のみの参加だが、全員卒業までに一度は参画できるような仕組みに変更した（1 年生理容科・31 年 2 月 12 日、1 年生美容科・31 年 3 月 12 日、2 年生理容科・30 年 6 月 12 日、2 年生美容科・30 年 11 月 13 日）。また逆に障がい者施設の方が学校に来てもらい現場の様子を伝えていただいた（30 年 9 月 5 日）。
- 30 年度も前年度同様、愛知県赤十字血液センターの献血施設へ出向く。ボランティア活動の中にも、40 分で助かる命があることを理解するきっかけ作りになる。（28 年度から継続）
- 地域連携プロジェクトと称し、名古屋市および周辺地域の企業、団体との連携協力を維持・発展させ、アリアーレの特性を生かした社会貢献を行い、地域の要望に応えるよう努めている。従来から訪問している名古屋地協メーデー、千種区今池祭りに加え、半田市の運輸会社、日進市の児童養護施設、名古屋市港区 日産自動車大学校 学校祭に新たにおじゃまし交流を深める。保護者等からご協力していただいた不用品を販売（約 4 万円）、中部善意銀行を通じて福祉団体に寄付をする。

(1 1) 国際交流

適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1

評価項目	評価
留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4

- 留学生が入学するには原則として満 18 歳以上の、母国等において 12 年間の学校教育を修了した者で、且つ日本の法務省による在留審査を経て留学の在留資格を得ることが前提としている。
- 外務省領事局領事サービス室からの指導として、外国籍の方で、卒業証明書等を外国で使用する際の証明（認証）については、公証人による証明書を発行している。